

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和 6 年 9 月30日
【中間会計期間】	自 令和 6 年 1 月 1 日 至 令和 6 年 6 月30日
【発行者の名称】	B N G銀行N . V . (BNG Bank N.V.)
【代表者の役職氏名】	最高経営責任者代行兼最高財務責任者 執行委員会法定構成員 Olivier Labe 最高リスク責任者 執行委員会法定構成員 Cindy van Atteveldt-Machielsen
【事務連絡者氏名】	弁護士 黒 丸 博 善 弁護士 奥 村 文 彦
【住所】	東京都港区六本木六丁目10番 1 号 六本木ヒルズ森タワー23階 T M I 総合法律事務所
【電話番号】	(03)6438-5511
【縦覧に供する場所】	該当なし

注(1) 本書中、別段の記載がない限り、「ユーロ」または「EUR」と表示される金額は、欧州連合条約により改正された欧州共同体を設立する条約に従い単一通貨を採択した欧州連合加盟国の法定通貨を意味する。2024年 9 月24日現在、東京の主要銀行により公表されたユーロに対する日本円の為替相場の中値は 1 ユーロにつき159.62円であった。

(2) 以下、B N G銀行N . V .を「BNG銀行」または「発行者」という。

(3) BNG銀行の事業年度およびオランダ王国の予算会計年度は暦年である。

(4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

第 1 【募集(売出)債券の状況】

該当事項なし

第2 【発行者の概況】

1 【概況】

BNG銀行の上半期は好調で、1億5,800万ユーロの純利益（2023年上半期：1億4,100万ユーロ）を達成した。純利益は利息損益による部分が大きく、かかる利息損益は2億5,800万ユーロ（2023年上半期：2億4,600万ユーロ）であった。2024年上半期の純利益は前年度を1,700万ユーロ上回った。

BNG銀行は上半期に60億ユーロ（2023年上半期：60億ユーロ）の新規長期貸付けを行った。貸付需要を満たすため、BNG銀行は123億ユーロ（2023年上半期：112億ユーロ）の長期資金を調達した。株主資本利益率は、純利益が増加したため、6.3%から6.9%に上昇した。

受取利息は2億5,800万ユーロで、2023年上半期を1,200万ユーロ上回った。金利の上昇により、利息損益が増加している。連結損益計算書におけるデリバティブに関連する財務成績の表示は、金融取引損益の項目の基礎となる要因に関する洞察を深めるため、2024年度に変更された。比較数値も調整された。

2023年上半期と比べ、手数料損益は400万ユーロ増加し1,700万ユーロとなった。400万ユーロ増の主な原因は、財務活動に関連する手数料である。受取手数料はさらに、主として支払取引手数料および約定手数料からの収入で構成される。

2024年上半期の金融取引損益は800万ユーロの損失（2023年上半期：500万ユーロの損失）であった。利付有価証券の信用スプレッドおよび流動性スプレッドの再評価に係る損益は500万ユーロの損失（2023年上半期：1,000万ユーロの損失）であった。ヘッジ会計による損益は700万ユーロの損失（2023年上半期：800万ユーロの利益）であった。2024年上半期の流動性ポートフォリオの売却による実現損益は900万ユーロの損失（2023年上半期：600万ユーロの損失）であった。信用スプレッドおよび流動性スプレッドの縮小により、その他の金融商品の再評価に1,300万ユーロのプラス（2023年上半期：300万ユーロのプラス）の影響があった。

2024年上半期の連結営業費用総額は500万ユーロ増の6,900万ユーロとなった。これは、団体労働協約の引上げ（2023年7月1日現在1%および2024年1月1日現在4%）により人件費が増加したこと、内部従業員数が2023年半ばの423名から2024年6月30日現在481名に増加したことが、主な原因であった。

当半期の減損損益は1,200万ユーロの利益（2023年上半期：1,100万ユーロの利益）であった。BNG銀行の予想信用損失引当金総額は、2024年上半期に1,600万ユーロ減少し9,000万ユーロとなったが、これは主に、2件の貸付金（合計1,300万ユーロ）の決済によるものである。

2024年6月30日現在、法人所得税費用は5,200万ユーロである。これは前年度より500万ユーロ高いが、すべて税引前利益の増加によるものである。欧州破綻処理基金が目標額を達成したため、BNG銀行は、2024年度には同基金への拠出義務を負わない（2023年度：1,400万ユーロ）。欧州の銀行による追加支払いは、同基金に対する請求が生じた場合にのみ必要となる。

貸借対照表の動向

2024年上半期の貸借対照表総額は、短期流動性資産が年度末よりも多く保有されていたため、100億ユーロ増の1,256億ユーロとなった。長期貸付金の増加により、貸借対照表項目「貸付金および前渡金」は26億ユーロ増加（短期貸付金は2億ユーロ増加）した。貸借対照表項目「発行済負債証券」は95億ユーロ増加したが、この主な原因は、短期資金の増加（74億ユーロ増加）であった。配当を1億2,000万ユーロ支払ったにもかかわらず、BNG銀行の当半期の株主資本は47億ユーロと変わらないままであった。

さらに、リスク加重資産は96億ユーロから104億ユーロに増加した。この増加は主に、飲料水企業およびネットワーク企業のソルベンシー加重の調整によるものである。この結果、BNG銀行の普通株式等Tier 1比率およびTier 1比率は、それぞれ40%および43%（2023年12月31日現在それぞれ43%および46%）に低下した。貸借対照表総額が増加したため、BNG銀行のレバレッジ比率は、2023年度末と比べ13.5%から10.6%に低下した。BNG銀行の自己資本比率および流動性比率は、いずれも規制当局が設定した最低水準を依然として大幅に上回っている。

見通し

当行は貸付け、ポートフォリオ開発および資金調達の面で将来に自信を持っている。2024年度の銀行税は3,100万ユーロと見積もられている。これは40%超の増加で、主に関税の引上げによるものである。

今後の市場価値の調整および減損の動向は、当然ながら不確実である。したがって、BNG銀行は、2024年度の予想純利益について発表することは賢明でないと考えている。

2 【資本構成】

2024年 6 月30日現在のBNG銀行の資本構成（未監査）は以下のとおりである。

	2024年 6 月30日現在
	（未監査）
	（単位：百万ユーロ）
授權株式資本：2 億5,000万ユーロ	
資本金（発行済全額払込済）	139
資本準備金	6
利益剰余金	4,092
再評価剰余金	(62)
キャッシュフロー・ヘッジ準備金	10
自己信用調整	7
ヘッジコスト準備金	50
当期純利益	158
その他Tier 1 資本	309
負債証券	105,854
受託資金	7,175
劣後債務	19
資本合計	117,757

3 【組織】

2024年上半期中において、以下を除き、BNG銀行の組織に重大な変更はなかった。

経営陣の異動 - 新しいCCOおよびCEO

ペーター・ナイセが2024年5月1日付で最高商務責任者（CCO）としてBNG銀行に加わった。

最高経営責任者（CEO）のギータ・サルデンが2024年5月末にBNG銀行を退職し、6月1日付でオランダ銀行（DNB）の経営取締役会に加わった。同氏は2018年からBNG銀行のCEOを務めた。

BNG銀行の現最高財務責任者（CFO）のオリピエ・ラーベが2024年6月1日付でCEO代行に任命された。

これらの任命により、現在の執行委員会の構成員は以下のとおりである。

オリピエ・ラーベ、最高財務責任者兼最高経営責任者代行（CFO and acting CEO）

シンディ・ファン・アッテフェルト＝マキールセン、最高リスク責任者（CRO）

ヤーコ・ファン・ハウトスヴァールト、最高執行責任者（COO）

ペーター・ナイセ、最高商務責任者（CCO）

新CEOの選考手続は2024年7月に完了した。フィリプイーネ・リッシュが10月1日付で新CEOに就任する予定である。同氏は任期を4年として任命された。

監督取締役会 - 新しい構成員2名の任命

2024年4月25日の年次株主総会において、マルヤ・エルシンガおよびコンスタント・コースアウトが任期を4年としてBNG銀行の監督取締役会（SB）の新構成員に任命された。

これらの任命は、ヤン・ファン・ルッテおよびヨハン・コナインの監督取締役会の退任に伴い行われた。

4 【経理の状況】

BNG銀行の連結中間財務書類（未監査）は、以下のとおりである。

連結貸借対照表
（単位：百万ユーロ）

	注記	2024年 6月30日現在	2023年12月31日現在
資産			
現金および中央銀行残高		11,530	1,617
銀行預入金		731	622
差入現金担保		3,493	4,751
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産		872	911
デリバティブ		2,885	3,011
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産		10,513	10,193
償却原価で測定される利付有価証券		9,019	8,829
償却原価で測定される貸付金および前渡金		93,133	90,497
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する貸付金に対する 価値調整		(6,883)	(5,037)
関連会社および共同支配企業		22	22
有形固定資産		16	15
当期税金資産		15	89
その他の資産		211	18
売却目的保有資産		2	2
資産合計		125,559	115,540
負債			
銀行借入金		1,315	905
受入現金担保		888	656
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債		240	260
デリバティブ		5,087	6,363
負債証券	1	105,854	96,344
受託資金		7,175	5,997
劣後債務		19	18
当期税金負債		-	-
繰延税金負債		23	19
その他の負債		249	257
負債合計		120,850	110,819
株主資本			
資本金		139	139
資本準備金		6	6
利益剰余金		4,092	3,970
再評価剰余金		(62)	(8)
キャッシュフロー・ヘッジ準備金		10	6
自己信用調整		7	4
ヘッジコスト準備金		50	41
当期純利益		158	254
株主に帰属する持分		4,400	4,412
その他Tier 1 資本		309	309
株主資本合計		4,709	4,721
負債および株主資本合計		125,559	115,540

連結損益計算書
(単位：百万ユーロ)

		2024年上半期	2023年上半期 ¹
	注記		
・実効金利法を用いて計算した受取利息		3,021	2,180
・その他の受取利息		559	734
受取利息合計		3,580	2,914
・実効金利法を用いて計算した支払利息		3,285	2,635
・その他の支払利息		37	33
支払利息合計		3,322	2,668
利息損益	2	258	246
・受取手数料		19	14
・支払手数料		2	1
手数料損益		17	13
金融取引損益	3	(8)	(5)
関連会社および共同支配企業による損益		0	1
その他の損益		0	0
収益合計		267	255
人件費		47	41
その他の一般管理費		21	22
減価償却費		1	1
その他の営業費用		0	0
営業費用合計		69	64
金融資産の減損損失純額	4	(12)	(11)
関連会社および共同支配企業の減損損失純額		-	0
破綻処理基金への拠出		-	14
その他の費用合計		(12)	3
税引前当期利益		210	188
法人所得税費用		52	47
当期純利益		158	141
・うちその他Tier 1 資本所有者に帰属		12	14
・うち株主に帰属		146	127

注1 表示調整済。「会計原則」の「比較数値の表示の変更」を参照のこと。

連結包括利益計算書
(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

	2024年上半期	2023年上半期
当期純利益	158	141
株主資本で直接認識される組替調整される損益		
キャッシュフロー・ヘッジ準備金の変動：		
・未実現価額の変動	4	(6)
・純損益に振り替えられた実現価額の変動	0	0
	4	(6)
ヘッジコスト準備金の変動：		
・未実現価額の変動	18	(20)
・純損益に振り替えられた実現価額の変動	(9)	(6)
	9	(26)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に係る再評価剰余金の変動：		
・未実現価額の変動	(62)	12
・純損益に振り替えられた実現価額の変動	8	7
	(54)	19
組替調整される損益合計	(41)	(13)
株主資本で直接認識される組替調整されない損益：		
・純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動	3	(1)
組替調整されない損益合計	3	(1)
株主資本で直接認識される損益	(38)	(14)
合計	120	127
・うちその他Tier 1 資本所有者に帰属	12	14
・うち株主に帰属	108	113

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万ユーロ)

	2024年上半期	2023年上半期
営業活動によるキャッシュフロー		
税引前当期利益	210	188
調整：		
・減価償却費	1	1
・減損	(12)	(11)
・純損益を通じて測定される未実現損益	(1)	21
営業資産および負債の変動：		
・銀行預入金および銀行借入金（要求払以外）の変動	276	649
・差入現金担保および受入現金担保の変動	2,343	(44)
・貸付金および前渡金の変動	(1,798)	967
・受託資金の変動	1,038	721
・デリバティブの変動	212	406
・支払法人税	(31)	(60)
・営業活動によるその他の変動	192	178
営業活動によるキャッシュフロー純額	2,430	3,016
投資活動によるキャッシュフロー		
投資および取得：		
・純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	(2)	(11)
・その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	(3,061)	(3,140)
・償却原価で測定される利付有価証券	(977)	(1,437)
・有形固定資産	(1)	(1)
処分および償還：		
・純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	34	123
・その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	2,568	1,591
・償却原価で測定される利付有価証券	782	451
・関連会社および共同支配企業に対する投資	-	1
投資活動によるキャッシュフロー純額	(657)	(2,423)
財務活動によるキャッシュフロー		
受取額：		
・純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	42	-
・負債証券	209,863	265,777
支払額：		
・中央銀行供給資金（TLTRO）の償還	-	(2,008)
・純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	(56)	(1)
・負債証券	(201,573)	(250,339)
・劣後債務	(15)	(21)
・その他Tier 1 資本に係る利息支払い	(120)	(15)
・株主に対する配当金	-	(139)
財務活動によるキャッシュフロー純額	8,141	13,254

	2024年上半期	2023年上半期
現金および現金同等物の純変動	9,914	13,847
1月1日現在の現金および現金同等物	1,619	6,824
6月30日現在の現金および現金同等物	11,533	20,671
6月30日現在の現金および現金同等物：		
・現金および中央銀行残高	11,530	20,668
・「銀行預入金」項目における現金同等物	3	4
・「銀行借入金」項目における現金同等物	-	(1)
	11,533	20,671
営業活動によるキャッシュフローに対する注記		
受取利息額	4,047	2,789
支払利息額	(3,500)	(2,078)
	547	711

連結株主資本変動計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュ・ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	その他 Tier 1 資本	合計
2024年 1 月 1 日											
現在の残高	139	6	(8)	6	4	41	3,970	254	4,412	309	4,721
包括利益合計	-	-	(54)	4	3	9	-	158	120	-	120
その他Tier 1 資本に係る返済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BNG銀行株主に 対する配当金	-	-	-	-	-	-	(120)	-	(120)	-	(120)
その他Tier 1 資本所有者に 対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(12)	-	(12)	-	(12)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	254	(254)	-	-	-
2024年 6 月30日											
現在の残高	139	6	(62)	10	7	50	4,092	158	4,400	309	4,709
	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュ・ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	その他 Tier 1 資本	合計
2023年 1 月 1 日											
現在の残高	139	6	4	14	2	17	3,824	300	4,306	309	4,615
包括利益合計	-	-	19	(6)	(1)	(26)	-	141	127	-	127
その他Tier 1 資本に係る返済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BNG銀行株主に 対する配当金	-	-	-	-	-	-	(139)	-	(139)	-	(139)
その他Tier 1 資本所有者に 対する利息支払い	-	-	-	-	-	-	(13)	-	(13)	-	(13)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	300	(300)	-	-	-
2023年 6 月30日											
現在の残高	139	6	23	8	1	(9)	3,972	141	4,281	309	4,590

連結中間財務書類の会計原則

会社概要

BNG銀行N.V.（以下「BNG銀行」という。）は、オランダの法律に基づく法定二層構造企業である。BNG銀行の重点は公共領域に置かれ、その社会的インパクトの拡大に努めている。BNG銀行の資本金の半分をオランダ王国政府が所有し、残りの半分を州、地方自治体および地域治水委員会が所有している。BNG銀行は、オランダのハーグ Bordewijklaan 18 に登録事務所を置き（商工会議所番号27008387で登録）、支店はない。

適用法令

中間財務書類は、欧州連合（EU）により採用されているIAS第34号「中間財務報告」に準拠して作成される。

本中間財務書類には、連結財務書類に必要な情報および開示のすべてが記載されるわけではないため、EUにより採用されているIFRSおよびオランダ民法典第2編第9章の適用ある条項に準拠して作成されたBNG銀行の2023年度連結財務書類と併せて読む必要がある。本報告書で使用されている会計方針は、BNG銀行の2023年度連結財務書類の注記に記載されているものと一致している。ただし、「EUにより採用され2024年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準」の項目に記載された会計方針の変更を除く。

一般に、BNG銀行は、EUにより採用されていないIASB発行の新規または改訂基準および解釈指針を適用しない。BNG銀行は、EUにより採用された2024年1月1日より後に開始する事業年度に強制適用される改訂基準および解釈指針の早期適用を原則として行わないことも決定した。

以下の新規または改訂基準、解釈指針および改善の適用により、BNG銀行の評価、損益の算定および開示の面で、本2024年度中間報告書において重要な調整は行われなかった。

EUにより採用され2024年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準

- ・ IFRS第16号「リース」の改訂：セール・アンド・リースバックにおけるリース負債：IASBにより2022年9月22日に発行され、EUにより2023年11月20日に承認された。本改訂は2024年1月1日に発効する。BNG銀行はセール・アンド・リースバック取引を行っていないため、財務書類への影響はない。
- ・ IAS第1号「財務諸表の表示」の改訂：IASBにより2022年10月31日に発行され、EUにより2023年12月19日に承認された。本改訂は2024年1月1日に発効する。財務書類への影響は限定的である。
- ・ IAS第7号「キャッシュ・フロー計算書」およびIFRS第7号「金融商品」の改訂：IASBにより2023年5月25日に発行され、EUにより2024年5月15日に承認された。本改訂は2024年1月1日に発効する。本改訂はサプライヤー・ファイナンス契約に適用されるため、財務書類への影響は限定的である。

EUにより採用されていない未適用の会計基準

当報告期間または将来の報告期間および予測可能な取引において、BNG銀行に重要な影響を及ぼすと見込まれる、未発効の他の基準はない。

評価および損益の算定に適用される重要な会計原則

中間報告書は、継続企業の前提に基づき作成される。貸借対照表項目のほとんどは、償却原価で測定される。貸借対照表項目「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」、「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産」、「デリバティブ」および「純損益を通じて公正価値で測定される金融負債」は、公正価値で測定される。貸借対照表項目「関連会社および共同支配企業」は、持分法に準拠して表示される。貸借対照表項目「有形固定資産」は、減価償却累計額控除後の原価で表示される。収益は、BNG銀行に経済価値が発生する見込みがあり、かつ信頼性を持って収益を決定できる場合に認識される。費用は、可能な場合、サービスが提供された期間またはこれらの費用を相殺する関連した収益に割り当てられる。詳細については、個々の貸借対照表項目に係る会計原則を参照のこと。

ユーロは、BNG銀行が使用する機能通貨であり報告通貨である。別段の記載がない限り、連結財務書類において、金額はすべて百万ユーロで表示される。

連結の会計原則

中間財務書類の作成に使用される親会社およびその子会社の中間財務書類は、同一の報告日時点で作成され、同一の原則に基づく。収益、費用、配当金等のグループ会社内取引および残高のすべては、中間財務書類で完全に消去されている。連結に含まれる子会社の報告期間はBNG銀行と一致している。

本中間財務書類は、親会社およびBNG銀行が支配する子会社の中間決算から構成される。支配は、BNG銀行が投資者となっていることにより変動リターンに対するエクスポージャーを有し、当該投資に関係した活動に対するパワーを行使することで当該リターンに影響を及ぼすことができる場合に存在する。グループ会社は、支配を獲得した日から、支配が消滅する時まで、完全に連結対象となる。BNG銀行が受益権または持分を保有する投資ファンドの支配を有するか否かを決定する際には、参加者としてBNG銀行が保有する財務上の利害関係が考慮される。

比較数値の表示の変更

連結損益計算書におけるデリバティブに関連する財務成績の表示は、連結損益計算書項目「金融取引損益」の基礎となる要因に関する洞察を深めるため、2024年度に変更された。新しい表示は2023年6月30日現在の連結損益計算書に遡及適用され、その影響により、純利益は「受取利息」から「金融取引損益」へ中立的に調整された。「ヘッジ会計を適用するデリバティブ」について、「受取利息」が2,400万ユーロ減少し、「支払利息」が100万ユーロ減少した結果、「ポートフォリオ・ヘッジ会計による損益」が2,400万ユーロ増加し、「ミクロ・ヘッジ会計による損益」が100万ユーロ減少した。

中間財務書類に対する諸事象の影響

2024年度も、BNG銀行の優れた自己資本および流動性ポジションのおかげで、公共領域の顧客に競争力のある金利で資金提供を続けることができた。当行の純利益の大きな要因は利息に係る純損益である。昨年度と比較すると主に、利息損益が増加し、破綻処理基金への追加拠出がなかったため、純利益が増加した。BNG銀行は、年間を通じて、当行が事業活動を行っている様々な部門の信用力の動向および顧客が財務上の困難に陥っていないかを監視している。当行は、引き続きヘルスケア部門を注視しているが、オーバーレイを中止することを決定した。同部門を徹底的に評価した結果、当行のモデルは現在ヘルスケア部門の状況を反映していると結論付けた。BNG銀行のポートフォリオの信用力は高い。BNG銀行の顧客への影響の詳細については、取締役報告書で言及されている。

該当する場合、重要な見積りおよび使用される手法に対する影響の詳細は、関連する注記に記載されている。

セグメント情報

BNG銀行は、リソース配分と業績測定を決定する際に、貸付業務と地域開発業務を区別している。BNG銀行は、貸付業務の管理と設定において、異なるセグメントまたは事業ユニットを区別していない。BNG銀行の地域開発業務は、その貸付業務と比較して重要ではない。したがって、本中間報告書にセグメント情報は含まれていない。

配当

2023年度について、1億2,000万ユーロの配当金が株主総会に提案され、2024年4月26日に支払われた。

その他Tier 1 資本所有者に対する1,200万ユーロの利息支払いが2024年上半期に分配された。この分配は、法人所得税上、損金算入可能である。BNG銀行は、2024年上半期の業績に係る中間配当を支払う予定はない。

連結中間財務書類に対する注記

1. 負債証券

2024年上半期に、負債証券は95億ユーロ増加し1,059億ユーロとなった。これは主に、長期資金調達で22億ユーロ増加し、（コマーシャル・ペーパーの形による）短期資金調達が73億ユーロ増加したためである。

BNG銀行は、その長期資金調達業務に関連して、2024年上半期に123億ユーロ（2023年上半期：112億ユーロ）の長期負債証券を発行した。報告期間における長期負債証券の償還価額合計は97億ユーロ（2023年上半期：79億ユーロ）であった。

2. 利息損益

	2024年上半期	2023年上半期 ¹
受取利息		
実効金利法を用いて計算した受取利息：		
・償却原価で測定される金融資産	1,345	1,113
・その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	119	70
・ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,547	983
・金融負債に係る受取利息	10	14
	3,021	2,180
その他の受取利息：		
・純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	20	24
・強制的に純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1	1
・ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	94	216
・その他	444	493
	559	734
受取利息合計	3,580	2,914
支払利息		
実効金利法を用いて計算した支払利息：		
・償却原価で測定される金融負債	1,605	1,493
・ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,634	1,130
・金融資産に係る支払利息	46	12
	3,285	2,635
その他の支払利息：		
・純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債	5	4
・ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	25	23
・その他	7	6
	37	33
支払利息合計	3,322	2,668
利息損益合計	258	246

注1 表示調整済。「会計原則」の「比較数値の表示の変更」を参照のこと。

3 . 金融取引損益

以下の表は、実現および未実現の市場価値変動による金融取引損益の内訳を示している。

	2024年上半期	2023年上半期 ¹
信用スプレッドおよび流動性スプレッドの変動に起因する 純損益を通じて公正価値で測定する以下の金融資産の市場価値変動：		
・ 利付有価証券	(2)	(5)
・ ストラクチャード・ローン	(3)	(5)
	(5)	(10)
ヘッジ会計による損益		
・ ポートフォリオ公正価値ヘッジ会計	3	49
・ ミクロ公正価値ヘッジ会計	(10)	(41)
・ ミクロ・キャッシュフロー・ヘッジ会計	0	0
	(7)	8
デリバティブに係る取引先信用リスクの変動（CVA / DVA）	1	2
売却および買取りによる実現損益	(9)	(6)
その他の市場価値変動	12	1
合計	(8)	(5)

注1 表示調整済。「会計原則」の「比較数値の表示の変更」を参照のこと。

2024年上半期の金融取引損益は800万ユーロの損失（2023年上半期：500万ユーロの損失）であった。利付有価証券およびストラクチャード・ローンの信用スプレッドおよび流動性スプレッドの変動による損益は500万ユーロの損失（2023年上半期：1,000万ユーロの損失）であった。市場動向により、ヘッジ会計による損益は700万ユーロの損失（2023年上半期：800万ユーロの利益）となった。2024年上半期の流動性ポートフォリオの売却および買取りによる実現損益は900万ユーロの損失（2023年上半期：600万ユーロの損失）であった。その他の市場動向ならびに信用スプレッドおよび流動性スプレッドの縮小により、その他の金融商品の評価損益は1,300万ユーロの利益（2023年上半期：300万ユーロの利益）となった。

４．金融資産およびオフバランスシート契約の減損

金融資産およびオフバランスシート契約の減損のステージ別内訳

以下の表は、減損の対象となる金融資産およびオフバランスシート契約の３つの減損のステージ別内訳を示している。

ステージ１：当初認識以降、信用リスクの著しい増大がない正常債権エクスポージャー

ステージ２：当初認識以降、信用リスクの著しい増大がある正常債権エクスポージャー

ステージ３：不良債権エクスポージャー

2024年 6 月30日現在							
減損対象の金融資産	帳簿価額総額				信用損失引当金（評価性）		
	正常債権		不良債権		正常債権		不良債権
	帳簿価額	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
現金および							
中央銀行残高	11,530	11,530	-	-	-	-	-
銀行預入金	731	731	-	-	0	-	-
差入現金担保	3,493	3,493	-	-	-	-	-
その他の包括利益							
を通じて公正価値							
で測定される金融							
資産 ¹	10,513	10,513	-	-	0	-	-
償却原価で測定							
される利付有価							
証券	9,019	9,019	-	-	0	-	-
償却原価で測定							
される貸付金							
および前渡金	93,133	92,022	618	582	(4)	(9)	(76)
合計	128,419	127,308	618	582	(4)	(9)	(76)

注１ その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、（正味）帳簿価額には含まれていない。

2024年 6 月30日現在						
オフバランスシート契約	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
偶発債務	484	0	7	0	0	(1)
取消可能信用供与契約	5,510	79	40	-	-	-
取消不能信用供与契約	3,527	0	0	0	-	-
合計	9,521	79	47	0	0	(1)

2023年12月31日現在

	帳簿価額総額				信用損失引当金（評価性）		
	正常債権		不良債権		正常債権		不良債権
	帳簿価額	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
減損対象の金融資産							
現金および							
中央銀行残高	1,617	1,617	-	-	-	-	-
銀行預入金	622	622	0	0	0	-	-
差入現金担保	4,751	4,751	-	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産 ¹	10,193	10,193	0	-	0	-	-
償却原価で測定される利付有価証券	8,829	8,769	61	-	0	(1)	-
償却原価で測定される貸付金および前渡金	90,497	88,802	1,195	599	(6)	(13)	(80)
合計	116,509	114,754	1,256	599	(6)	(14)	(80)

注 1 その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、（正味）帳簿価額には含まれていない。

2023年12月31日現在

	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3
オフバランスシート契約						
偶発債務	474	3	1	-	-	(1)
取消可能信用供与契約	5,892	147	78	-	-	(2)
取消不能信用供与契約	3,937	10	12	-	(1)	(2)
合計	10,303	160	91	0	(1)	(5)

2024年6月30日現在、不良債権エクスポージャーは合計5億8,200万ユーロ（2023年度末：5億9,900万ユーロ）であった。不良債権エクスポージャーは、ポートフォリオ合計の0.5%（2023年度末：0.5%）を占め、26件の債務者（2023年度末：26件の債務者）に関係する。BNG銀行は、不良債権エクスポージャーに関連して合計2億9,600万ユーロ（2023年度末：3億8,200万ユーロ）の政府保証を受けている。以下の表は、不良債権エクスポージャーの推移を示している。

	2024年上半期	2023年度
1月1日現在の不良債権エクスポージャー合計	598	848
既存の不良債権エクスポージャーの増加	10	10
正常債権から不良債権エクスポージャーへの移動	64	30
不良債権から正常債権エクスポージャーへの移動	(41)	(120)
不良債権エクスポージャーの返済および決済	(40)	(127)
償却	(9)	(43)
期末現在の不良債権エクスポージャー合計	582	598

予想信用損失引当金の変動

以下の表は、金融資産に係る予想信用損失引当金（評価性）およびオフバランスシート契約に係る予想信用損失引当金（負債性）の変動を示している。

2024年上半期						
	期首残高	組成および 取得による 増加	認識中止、 返済および 処分による 減少	信用リスク の変動に よる変動 (純額)	償却による 引当金の 減少	期末残高
引当金（評価性）						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0	-	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される金融資産	0	0	0	0	-	0
償却原価で測定される 利付有価証券	1	0	0	(1)	-	0
償却原価で測定される 貸付金および前渡金	99	2	(5)	2	(9)	89
	100	2	(5)	1	(9)	89
引当金（負債性）						
オフバランスシート契約	6	0	0	(5)	0	1
2023年上半期						
	期首残高	組成および 取得による 増加	認識中止、 返済および 処分による 減少	信用リスク の変動に よる変動 (純額)	償却による 引当金の 減少	期末残高
引当金（評価性）						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	0	-	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される金融資産	0	0	0	0	-	0
償却原価で測定される 利付有価証券	2	0	0	0	-	2
償却原価で測定される 貸付金および前渡金	158	1	(3)	2	(43)	115
	160	1	(3)	2	(43)	117
引当金（負債性）						
オフバランスシート契約	3	(1)	0	1	-	3

契約上のキャッシュフローの変更

全期間の予想信用損失に基づく損失引当金が設定されている（すなわちステージ 2 または 3）金融資産で、2024年上半期中に契約上のキャッシュフローが変更されたものはない。2024年上半期に、支払猶予措置の対象となった金融資産はステージ 2 からステージ 1 に振り替えられなかった。

主要なインプットおよび仮定

金融資産の予想信用損失（ECL）は、信用リスクの著しい増大（SICR）が発生したかどうかによって、12か月または全期間のどちらかに基づいて測定される。ECL合計は、デフォルト確率（PD）、デフォルト時損失率（LGD）およびデフォルト時エクスポージャー（EAD）の結果を割り引いたものである。

デフォルト確率

PDは、ECLおよびSICRの決定における主要な構成要素として使用される。BNG銀行は、外部格付が入手できないエクスポージャーについて、主に専門家の判断に基づくPDモデルを開発した。IFRS第9号の遵守およびいわゆる「ポイント・イン・タイム」のPDを確保するため、BNG銀行は将来に関する情報（FLI）を含んだオーバーレイ・モデルを開発した。ステージの決定においては、FLIを調整済の信用格付が使用されている。BNG銀行は、ムーディーズ・アナリティックスにより作成された経済予測に基づく3つの外部開発シナリオを適用している。経済予測は、その正確性が厳密に検証されており、BNG銀行の以前の内部手法と比べ同様のシナリオが含まれている。

デフォルト時損失率

信用ポートフォリオのデフォルト率が低く、過去の内部のLGDデータが不足しているため、BNG銀行はLGDモデルを確立することができない。したがって、BNG銀行はエクスポージャー全体に対して、4つの異なるLGD率を伴う基本的な一律LGDアプローチを適用している。

- ・（オランダ）中央政府または地方政府が交付または保証するエクスポージャーについて0%
- ・ EU内の中央政府または地方政府が発行する政府債について10%
- ・ 中央政府または地方政府の保証がないエクスポージャーおよび優先無担保債について35%
- ・ 劣後ローンについて75%

デフォルト時エクスポージャー

貸付金および利付有価証券（証券化を除く）に係るEADは、債務者が12か月間または全期間にわたって義務を負う契約上の返済額に基づく。任意返済または早期償還は、過去の実績から頻度が高くないため、考慮に入れていない。証券化に関する将来の契約上の返済額は、外部情報源から得られる見積定率期限前返済率に基づく。コミットメント（オフバランスシート）ファシリティの場合、最大エクスポージャーは、12か月間または全期間（減損のステージによる）のどちらかにおいて予想される融資枠の使用を反映するよう調整される。

信用リスクの著しい増大

BNG銀行は、認識以降の信用リスクの著しい変動を評価するためのインプット・パラメータとして、FLIについて調整されたポイント・イン・タイムPDを適用している。さらにBNG銀行は、SICRを判定するための補完基準として、支払猶予措置および30日超の期日経過を使用している。他方で、BNG銀行は認識以降の信用リスクの著しい変動のモニタリングについて、低信用リスクである場合の除外も適用している。この場合、SICRが生じているかを判定せずに、12か月間のECLを使用して減損が測定される。BNG銀行は、投資適格の格付を有する金融資産については「低信用リスク」とであるとみなす。債券については、BNG銀行はBBB-以上を投資適格とみなしている。

貸付金については、BNG銀行は内部相手先信用格付を使用して投資適格であるかを判定している。内部相手先信用格付は、多数の市場セクター固有の内部格付モデルから導き出され、これらのモデルは外部的に検証されている。

BNG銀行は、ステージ3の減損金額を決定する際に、専門家を利用して判断を行っている。このアプローチは、財務再編・再建部門により金融商品レベルごとに実行される。

将来に関するマクロ経済情報

主要なマクロ経済変数を識別するために、過去のデータの分析が行われている。2024年上半期には、より深い分析が実施された。国債に関するシナリオを含めるなど方法が改善され、新しいマクロ経済変数が決定された。その要素は以下の表のとおりである。マクロ経済環境の改善により、3つのシナリオの加重は2023年度の加重と比べ調整された。過去のデータの分析は四半期毎に提供される。専門家による判断が適用され、資産・負債委員会（ALCO）により承認される。

ヘルスケア・オーバーレイは、2022年度に初めて適用されたが、2024年6月現在適用されていない。同部門を徹底的に評価した結果、当行のモデルは現在ヘルスケア部門の状況を反映していると結論付けた。

国債

マクロ経済変数	2024年6月30日現在の期間	2023年12月31日現在の期間
欧州5か国の平均CDSスプレッド	3年	-
シナリオ	2024年6月30日現在の加重	2023年12月31日現在の加重
基本シナリオ	46%	-
上昇シナリオ	27%	-
下降シナリオ	27%	-

証券化

マクロ経済変数	2024年6月30日現在の期間	2023年12月31日現在の期間
購買力平価から法定平価への換算係数 (ユーロ圏)	3年	3年
失業率(ユーロ圏)	3年	3年
財・サービスの実質輸出純額(ユーロ圏)	3年	3年
シナリオ	2024年6月30日現在の加重	2023年12月31日現在の加重
基本シナリオ	46%	75%
上昇シナリオ	27%	10%
下降シナリオ	27%	15%

貸付金

マクロ経済変数	2024年6月30日現在の期間	2023年12月31日現在の期間
インフレ非加速的失業率(オランダ)	3年	3年
30年物国債金利(オランダ)	3年	3年
従業員報酬(オランダ)	3年	3年

シナリオ	2024年6月30日現在の加重	2023年12月31日現在の加重
基本シナリオ	46%	75%
上昇シナリオ	27%	10%
下降シナリオ	27%	15%

不良債権エクスポージャー

BNG銀行は、以下の基準のいずれかを満たす場合、不良債権の定義と完全に合致している金融商品を債務不履行と定義する。

- ・ BNG銀行が、債務者によるBNG銀行に対する信用債務の支払可能性が低いとみなしている。
- ・ 債務者によるBNG銀行に対する重要な信用債務の支払いが90日以上遅延している。

BNG銀行は、「弁済可能性が低いこと」について以下の指標を採用している。

- ・ 債務者の収入源が、支払債務を履行するには不十分とみなされる。
- ・ 将来キャッシュフローに対する疑義の兆候が見られる。
- ・ 債務者の負債比率が著しく上昇した。
- ・ 1件以上の約款違反が発生した。
- ・ BNG銀行が保証の実行を求めた、または担保権を実行した。
- ・ (登録簿に記録された)他の債権者に対する著しい支払遅延。
- ・ 債務者の市場セクターに経済的危機があり、同セクター内の債務者が信用弱者とみなされている。
- ・ 財務的困難により、債務者は市場セクターにおいて活発に活動しているとはみなされなくなった。
- ・ BNG銀行以外の債権者が当該債務者の破産を申し立てた。

信用損失引当金の感応度分析

信用損失引当金の金額の(再)計算において、インプットの変動に対する信用損失引当金の感応度を測定するために、異なるシナリオが設定されている。

シナリオA

シナリオAでは、減損の対象となるすべての個別エクスポージャーの信用格付が1ノッチ引き下げられる(例えば、AAAからAA+)。これらの(引き下げられた)信用格付およびそれに伴うPDがステージ分類評価および信用損失引当金の計算に適用される。その結果、一部のエクスポージャーがステージ1からステージ2に振り替えられる。EADおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオ B

シナリオ B では、通常はLGDが 0 % のエクスポージャーのLGDを10%とする。通常はLGDが10%、35%または75%のエクスポージャーのLGDは変更されない。EAD、信用格付およびPDについても、ベース水準からの変更はない。

シナリオ C

シナリオ C では、信用損失引当金の計算がポイント・イン・タイムPDではなく、「スルー・ザ・サイクル」PDを使用して実施される。すなわち、将来に関するマクロ経済情報を組み込まないPDが計算に使用される。EAD、信用格付、ステージレベルおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

以下の表は、3つのシナリオにおける信用損失引当金合計の感応度を示している。

2024年 6 月30日現在				
	実際の計上額	シナリオ A (1 ノッチ 引き下げ)	シナリオ B (LGDを 0 % から10%に)	シナリオ C (スルー・ザ・ サイクルPD)
引当金（評価性）				
現金および中央銀行残高	-	-	-	-
銀行預入金	0	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	0	-	-	-
償却原価で測定される利付有価証券	0	-	-	-
償却原価で測定される貸付金および前渡金	89	96	98	96
	89	96	98	96
引当金（負債性）				
オフバランスシート契約	1	1	1	1
2023年12月31日現在				
	実際の計上額	シナリオ A (1 ノッチ 引き下げ)	シナリオ B (LGDを 0 % から10%に)	シナリオ C (スルー・ザ・ サイクルPD)
引当金（評価性）				
現金および中央銀行残高	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	0	0	0	0
償却原価で測定される利付有価証券	1	2	1	1
償却原価で測定される貸付金および前渡金	99	101	117	111
	100	103	118	112
引当金（負債性）				
オフバランスシート契約	6	5	5	5

5 . 分類別の金融商品の内訳

2024年 6 月30日現在				
	償却原価	純損益を通じて 公正価値で測定	その他の包括 損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	11,530	-	-	11,530
銀行預入金	731	-	-	731
差入現金担保	3,493	-	-	3,493
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	872	-	872
デリバティブ	-	2,885	-	2,885
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	10,513	10,513
利付有価証券	9,019	-	-	9,019
貸付金および前渡金	93,133	-	-	93,133
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	(6,883)	-	-	(6,883)
資産合計	111,023	3,757	10,513	125,293
銀行借入金	1,315	-	-	1,315
受入現金担保	888	-	-	888
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	240	-	240
デリバティブ	-	5,087	-	5,087
負債証券	105,854	-	-	105,854
受託資金	7,175	-	-	7,175
劣後債務	19	-	-	19
負債合計	115,251	5,327	-	120,578

2023年12月31日現在				
	償却原価	純損益を通じて 公正価値で測定	その他の包括 損益を通じて 公正価値で測定	合計
現金および中央銀行残高	1,617	-	-	1,617
銀行預入金	622	-	-	622
差入現金担保	4,751	-	-	4,751
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	911	-	911
デリバティブ	-	3,011	-	3,011
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	10,193	10,193
利付有価証券	8,829	-	-	8,829
貸付金および前渡金	90,497	-	-	90,497
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	(5,037)	-	-	(5,037)
資産合計	101,279	3,922	10,193	115,394
銀行借入金	905	-	-	905
受入現金担保	656	-	-	656
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	260	-	260
デリバティブ	-	6,363	-	6,363
負債証券	96,344	-	-	96,344
受託資金	5,997	-	-	5,997
劣後債務	18	-	-	18
負債合計	103,920	6,623	-	110,543

6. 金融商品の公正価値

公正価値とは、現在の市場状況の下、測定日時点で、意思または能力にかかわらず、市場参加者間の秩序ある取引により、資産が売却された場合に受け取るであろう移転価格（取引費用調整前）または負債が移転された場合に支払うであろう価格である。評価が市場参加者の観点から行われる必要があるということを想定しており、これにより、金融商品の固有の特徴および制限のみが考慮される。3つのレベルの公正価値の間で区別がなされ、インプットの性質およびその全体の評価にとっての重要性がヒエラルキーの正しい分類によって決定的である。

公正価値ヒエラルキー

- ・ レベル1：活発な市場における、当該商品の、または入手できない場合は同一商品の、（未調整の）相場価格に基づく評価。金融商品は、相場価格が定期的に入手可能である場合、ならびにそれらの価格が現在および定期的に生じる独立当事者間の市場取引を反映している場合に、活発な市場での相場価格があるとみなされる。金融資産および負債の相場価格は、中間市場価格に基づいている。
- ・ レベル2：レベル1で使用された相場価格を除く、直接的または間接的に観察可能な市場データを用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、類似した商品の活発な市場での相場価格、同一もしくは類似した商品の活発とはみなされない市場での相場価格、またはすべて市場データから直接的もしくは間接的に観察可能な重要なインプットによるその他の評価技法を用いて評価される商品を含む。
- ・ レベル3：市場で公表されない観察不能なインプットを大幅に用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法による商品を含み、そのため、観察不能な市場データが商品の評価に重要な影響を与える。このカテゴリーはまた、類似した商品の相場価格に従って評価された商品も含み、これにより重要で公には観察不能な変更または前提が、商品間の差異を示すために必要となる。

可能な場合、BNG銀行は、価格カーブおよび資金調達カーブを決定するために、相場価格（レベル1）を使用する。BNG銀行は、評価目的で中間市場価格を使用する。中間市場価格の使用は、金融資産および金融負債の市場リスクが相殺される場合、認められている。

多くの場合、BNG銀行は債務者に関し理論的な評価（レベル2）に依拠している。かかる場合は、一般的に金融業界で使用される評価モデルおよび技法に基づき公正価値が決定される。これらの大部分は純現在価値計算に基づくモデルおよびオプション価格モデルである。これらのモデルのための変数は、市場価格、フォワード価格設定、割引の市場条件に沿ったイールド曲線、相関、ボラティリティ、クロスカレンシー・スワップのベースス・スプレッド、取引先の信用力ならびに市場当事者が価格決定に使用するその他の要因、見積り、仮定等の直接的または間接的に客観的に観察可能なインプットに基づく。BNG銀行は、いわゆるスプレッド曲線を、理論的な評価が必要な信用および流動性リスクに関連する金融商品の公正価値を決定するために使用する。これらのスプレッド曲線は、関連する金利曲線ならびに信用および流動性リスクのスプレッドに基づき作成される。信用リスク・スプレッドは、受入担保、保証および満期を考慮に入れ、債務者の信用力に左右される。流動性リスク・スプレッドは、商品の市場性の程度に左右される。個々の顧客および金融商品のリスク・プロファイルは、少なくとも四半期毎に1回評価される。必要な場合、信用リスクのスプレッドは調整される。

ごく限られた場合に、BNG銀行の金融商品の評価は、かなりの程度まで、市場で観察不能なインプットおよび経営陣の見積り（レベル3）に基づいている。

デリバティブ取引の公正価値決定の際に、信用評価調整（CVA）および債務評価調整（DVA）が、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結していないすべての顧客および金融取引先とのデリバティブ取引すべて

に適用される。CVAおよびDVAはまた、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結したが、担保額の算定において重要な閾値が適用される顧客または取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。

BNG銀行は自己の信用リスクの決定において、関連するスワップ・カーブに対するスプレッド、すなわち「自己信用調整（OCA）」を適用している。OCAは、「純損益を通じて公正価値で測定される金融負債」に含まれる商品のみに関連する。

金融商品がフォワード契約の性格を持つ限り、フォワード・イールド曲線およびフォワード為替相場などの公表されているフォワード価格が使用される。複雑な商品の場合、商品の構成要素は、上記の技法およびモデルに基づき個別に測定される。商品全体の公正価値は構成要素の公正価値の合計として決定される。BNG銀行は、各報告期間末の財務ポジション処理のために継続的に測定される経常的な公正価値のみを適用する。

	2024年6月30日現在		2023年12月31日現在	
	貸借対照表		貸借対照表	
	価額	公正価値	価額	公正価値
現金および中央銀行残高	11,530	11,530	1,617	1,617
銀行預入金	731	746	622	635
差入現金担保	3,493	3,493	4,751	4,751
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	872	872	911	911
デリバティブ	2,885	2,885	3,011	3,011
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	10,513	10,513	10,193	10,193
償却原価で測定される利付有価証券	9,019	8,854	8,829	8,709
償却原価で測定される貸付金および前渡金	93,133	84,813	90,497	84,428
金融資産合計	132,176	123,706	120,431	114,255
銀行借入金	1,315	1,300	905	892
受入現金担保	888	888	656	656
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	240	240	260	260
デリバティブ	5,087	5,087	6,363	6,363
負債証券	105,854	104,956	96,344	95,501
受託資金	7,175	7,196	5,997	6,043
劣後債務	19	20	18	20
金融負債合計	120,578	119,687	110,543	109,735

取引を行う際、公正価値のヒエラルキー分類は、分類を決定付けるインプット要因の性質およびその評価全体への重要性を踏まえた、評価に関連する特徴に基づいて決定されている。分類は、取引全体として公正価値に重要性のあるインプットのレベルのうち最も低いものに基づいて行われる。

重要性は、評価全体の結果に対する観察不能なインプット要因の影響を、これらの観察不能なインプット要因に関する代替的な仮定の範囲を考慮に入れて決定することにより評価される。四半期毎に、各取引のヒエラルキー分類は評価され、必要な場合、調整される。

以下の表は、公正価値で認識される取引の公正価値ヒエラルキーの概要を示している。

2024年 6 月30日現在				
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	58	805	9	872
デリバティブ	0	2,885	-	2,885
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	10,434	79	-	10,513
金融資産合計	10,492	3,769	9	14,270
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	240	-	240
デリバティブ	-	5,087	-	5,087
金融負債合計	-	5,327	-	5,327
2023年12月31日現在				
	レベル 1	レベル 2	レベル 3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	62	840	9	911
デリバティブ	-	3,011	-	3,011
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	10,114	79	-	10,193
金融資産合計	10,176	3,930	9	14,115
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	117	143	-	260
デリバティブ	-	6,363	-	6,363
金融負債合計	117	6,506	-	6,623

2024年 6 月30日現在、1 件の資産がレベル 3 に分類されている。これは金利リスクがスワップでヘッジされている劣後ローンである。これは市場ではほとんど取引されない仕組利付有価証券である。したがって、類似の証券について入手できる観察可能な市場データは現在の公正価値を完全に反映するものではない。この取引の公正価値は公表された市場データに基づいて決定され、重要な、市場で公表されない観察不能なインプットを用いて調整される。

入手できる市場データのインプット項目が減少したため、当行は2024年 6 月30日をもって 1 件の負債をレベル 1 からレベル 2 に再分類した。

償却原価による取引の公正価値ヒエラルキー

以下の表は、貸借対照表上、償却原価で認識される取引の公正価値を決定する方法の概要を示している。

レベル3に含まれる償却原価で測定される金融資産は主に、BNG銀行の法定顧客に対する自己資本要件が課される貸付金および前渡金に関連する。政府保証に基づく法定取引先に対する貸付金および前渡金は、オランダ王国が発行した債券との強い相関のため、レベル2に含まれる。「負債証券」項目のレベル1に含まれる償却原価で測定される金融負債は、BNG銀行が発行した売買可能なベンチマーク債券に関連する。民間借入は、「受託資金」項目のレベル3として分類される。

2024年6月30日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	126	11,404	-	11,530
銀行預入金	3	742	1	746
差入現金担保	-	3,493	-	3,493
償却原価で測定される利付有価証券	3,125	5,487	242	8,854
貸付金および前渡金	354	77,324	7,135	84,813
金融資産合計	3,608	98,450	7,378	109,436
銀行借入金	-	1,300	-	1,300
受入現金担保	-	888	-	888
負債証券	84,478	20,478	-	104,956
受託資金	3,890	2,922	384	7,196
劣後債務	-	20	-	20
金融負債合計	88,368	25,608	384	114,360

2023年12月31日現在				
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	1,617	-	-	1,617
銀行預入金	2	631	2	635
差入現金担保	-	4,751	-	4,751
償却原価で測定される利付有価証券	2,488	5,974	247	8,709
貸付金および前渡金	463	76,609	7,356	84,428
金融資産合計	4,570	87,965	7,605	100,140
銀行借入金	1	891	-	892
受入現金担保	-	656	-	656
負債証券	81,782	13,719	-	95,501
受託資金	3,708	1,915	420	6,043
劣後債務	-	20	-	20
金融負債合計	85,491	17,201	420	103,112

7 . 信用リスク

支払猶予されたエクスポージャー

支払猶予は、債務者の不安定な財務ポジションの結果、債務者がその債務を果たすことができるよう債務者のために信用条件が変更された信用契約に関連する。

	2024年 6月30日現在			
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		合計に占める割合
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	11,530	-	-	0.0%
銀行預入金	731	-	-	0.0%
差入現金担保	3,493	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	872	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	10,513	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	9,019	-	-	0.0%
償却原価で測定される貸付金および前渡金	93,133	361	316	0.4%
	129,291	361	316	0.3%
オフバランスシート契約				
偶発債務	491	-	-	0.0%
取消可能信用供与契約	5,629	13	13	0.2%
取消不能信用供与契約	3,527	0	0	0.0%
	9,647	13	13	0.1%

	2023年12月31日現在			
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		合計に占める割合
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	1,617	-	-	0.0%
銀行預入金	622	-	-	0.0%
差入現金担保	4,751	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	911	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	3,011	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	10,193	-	-	0.0%
償却原価で測定される貸付金および前渡金	90,497	262	227	0.3%
	111,602	262	227	0.2%
オフバランスシート契約				
偶発債務	478	2	2	0.4%
取消可能信用供与契約	6,118	29	29	0.5%
取消不能信用供与契約	3,960	-	-	0.0%
	10,556	30	30	0.3%

債務者の不利な財務ポジションの結果として契約条項が変更された金融資産は、2024年6月30日現在3億6,100万ユーロ（減損控除前）（2023年度末：2億6,200万ユーロ）であった。支払猶予されたエクスポージャーは、ポートフォリオ合計の0.3%（2023年度末：0.2%）を占め、13件の債務者（2023年度末：11件の債務者）に関係する。支払猶予は、減損のステージ決定評価における防護指標として用いられ、その結果、すべての支払猶予エクスポージャーは減損のステージ2に分類されている。

不良債権

BNG銀行の不良債権エクスポージャーの方法論の開示については、注記4（金融資産およびオフバランスシート契約の減損）を参照のこと。不良債権に分類されるエクスポージャーは、以下のすべての条件を満たす場合、再び正常債権とみなされる。

- ・ 債務者が再び、すべての契約条件を満たしている（債務不履行は生じていない）。
- ・ 債務者の状況が、既存または変更後の支払条件に従って支払債務を履行することが可能な程度まで改善している（「支払可能性が高い」）。
- ・ 債務者に90日を超える支払いの遅延がない。

正常債権の支払遅延エクスポージャーの満期分析

数値は、IFRS第9号に基づく減損のステージ3に含まれない支払遅延エクスポージャーで構成されている。

	2024年6月30日現在	2023年12月31日現在
31日未満	2	0
31日以上60日以下	-	-
61日以上90日以下	0	-
90日超	-	-
期末残高	2	0

金融資産および金融負債（デリバティブ）のネットティング

BNG銀行がデリバティブ取引を締結する準備を整えている金融相手先は、信用リスクを減らすためにネットティング契約が提供される。さらに、相対の担保契約が締結される。これらにより、市場価額の動向を担保によって日次で緩和できるようにしている。契約は、規制の変更に応じて必要があれば更新される。これらの契約は、キャッシュフローが中央清算参加者を通じて相殺されない限り、貸借対照表上のネットティングの対象ではない。以下の表は、貸借対照表上のネットティング前の総額ポジション、および担保契約を考慮に入れた場合の総額ポジションを示している。

2024年6月30日現在			
	デリバティブ (資産)	デリバティブ (負債)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	16,045	(18,247)	(2,202)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(13,160)	13,160	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 （ネットティング後）	2,885	(5,087)	(2,202)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(1,749)	1,749	0
担保考慮前のエクスポージャー	1,136	(3,338)	(2,202)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(790)	3,260	2,470
正味エクスポージャー	346	(78)	268

2023年12月31日現在			
	デリバティブ (資産)	デリバティブ (負債)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	15,123	(18,475)	(3,352)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(12,112)	12,112	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 （ネットティング後）	3,011	(6,363)	(3,352)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(1,887)	1,887	0
担保考慮前のエクスポージャー	1,124	(4,476)	(3,352)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(656)	4,751	4,095
正味エクスポージャー	468	275	743

2024年6月30日現在、デリバティブに係る差入担保額は34億ユーロ（2023年度：44億ユーロ）であった。BNG銀行の信用格付が3ノッチ引き下げられても、2023年度と同様、当該金額には影響しない。BNG銀行の流動性ポジションの強さは、担保債務を満たし、担保債務の変動を吸収するのに十分である。

	2024年6月30日現在		2023年12月31日現在	
	リバースレポ 取引（資産）	レポ取引 （負債）	リバースレポ 取引（資産）	レポ取引 （負債）
リバースレポ契約およびレポ契約の ネットティング				
貸借対照表上のネットティング前の 貸借対照表価額総額	1,994	(1,993)	1,318	(1,318)
リバースレポ契約およびレポ契約の 貸借対照表上のネットティング	(1,993)	1,993	(1,318)	1,318
金融資産および負債の貸借対照表価額 純額	1	0	0	0

利付有価証券（IBS）投資

BNG銀行のIBSポートフォリオは、主に流動性管理目的で保有されている。ポートフォリオは、質の高い債券で構成され、その大部分は中央銀行が担保として受け入れる。BNG銀行のIBSポートフォリオ全体は流動性

ポートフォリオとALM（資産および負債管理）ポートフォリオに分けられる。流動性ポートフォリオは、流動性の高い有価証券のみで構成され、以下の表に示される様々な流動性カバレッジ比率のレベルに従って細分化されている。ALMポートフォリオは、有価証券の種類によって細分化されている。ポートフォリオの動向は毎月報告される。外部格付および内部格付等の要因を用いて、BNG銀行はその動向を個別に監視している。これらのポートフォリオ内の資産は、年2回減損分析を受ける。

各格付カテゴリーについて以下に表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。貸借対照表価額合計（減損控除前）も最右列に示されている。価額合計202億ユーロ（2023年度：197億ユーロ）は、貸借対照表項目「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産」（105億ユーロ）、「償却原価で測定される利付有価証券」（90億ユーロ）および「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」（7億ユーロ）で認識される。

2024年 6 月30日現在							
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
流動性ポートフォリオ							
レベル - 政府 / 国際機関	6,010	3,305	90	46	-	9,451	9,102
レベル B - カバード・ボンド	2,499	-	-	-	-	2,499	2,457
レベル A - 政府 / 国際機関	-	59	-	-	-	59	58
レベル A - カバード・ボンド	205	-	-	-	-	205	204
レベル B - 法人	-	-	-	-	-	-	-
レベル B - RMBS	1,251	-	-	-	-	1,251	1,266
	9,965	3,364	90	46	-	13,465	13,087
ALMポートフォリオ							
RMBS	27	79	39	-	-	145	146
ABS	29	-	-	70	-	99	100
RMBS-NHG	2,474	38	85	-	-	2,597	2,607
その他	2,524	794	712	462	-	4,492	4,223
	5,054	911	836	532	0	7,333	7,076
合計	15,019	4,275	926	578	0	20,798	20,163

2023年12月31日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
流動性ポートフォリオ							
レベル - 政府 / 国際機関	4,525	3,094	1,233	46	-	8,898	8,812
レベル B - カバード・ボンド	2,346	-	-	-	-	2,346	2,335
レベル A - 政府 / 国際機関	-	58	-	-	-	58	62
レベル A - カバード・ボンド	310	-	-	-	-	310	310
レベル B - 法人	-	-	-	-	-	-	-
レベル B - RMBS	1,489	-	-	-	-	1,489	1,507
	8,670	3,152	1,233	46	-	13,101	13,026
ALMポートフォリオ							
RMBS	27	103	44	-	-	174	175
ABS	33	-	15	15	45	108	108
RMBS-NHG	2,618	41	89	-	-	2,748	2,762
その他	2,000	646	549	450	-	3,645	3,594
	4,678	790	697	465	45	6,675	6,639
合計	13,348	3,942	1,930	511	45	19,776	19,665

長期外国エクスポージャー

以下の表は、長期外国エクスポージャーの概要を示している。デリバティブ取引および短期取引（銀行と特定の現金担保を含む。）は含まれていない。表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。

2024年6月30日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	4,008	-	-	-	-	4,008	3,921
国際開発金融機関	201	-	-	-	-	201	190
オーストリア	-	1,126	-	-	-	1,126	1,046
ベルギー	-	642	-	69	-	711	733
デンマーク	36	-	-	-	-	36	35
フィンランド	-	424	-	-	-	424	398
フランス	685	1,141	-	-	-	1,826	1,842
ドイツ	665	179	37	-	-	881	837
ルクセンブルク	384	-	-	-	-	384	342
ポルトガル	12	-	14	58	-	84	84
シンガポール	-	-	130	-	-	130	130
スペイン	15	80	105	46	-	246	255
英国	205	516	140	498	16	1,375	1,293
合計	6,211	4,108	426	671	16	11,432	11,106

2023年12月31日現在							
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	4,135	-	-	-	-	4,135	4,113
国際開発金融機関	-	1,084	-	-	-	1,084	1,022
オーストリア	-	446	-	73	-	519	560
ベルギー	36	-	-	-	-	36	36
デンマーク	-	424	-	-	-	424	402
フィンランド	682	1,168	-	-	-	1,850	1,904
フランス	665	155	31	-	-	851	804
ドイツ	-	-	15	-	45	60	59
イタリア	539	-	-	-	-	539	499
ルクセンブルク	13	2	15	-	-	30	31
ポルトガル	-	-	109	-	-	109	109
スペイン	14	101	107	46	-	268	292
英国	310	491	138	485	17	1,441	1,450
米国	73	-	-	-	-	73	75
合計	6,467	3,871	415	604	62	11,419	11,356

投資不適格項目（すなわち、格付BBB-未満の項目）は、英国におけるエクスポージャーで構成される。英国の投資不適格エクスポージャーは、インフラ、教育、エネルギーおよびヘルスケアの分野での少数の民間プロジェクト・ファイナンスのスキームに関係する。長期外国投資不適格エクスポージャーの公正価値合計は1,500万ユーロ（2023年度末：5,600万ユーロ）であった。

オフバランスシート項目

偶発資産

2023年上半期に、BNG銀行はTLTRO第三弾に係る訴訟で敗訴し、控訴した。判決は2024年第4四半期以降となる見込みである。

偶発債務

これは、BNG銀行が第三者のために保証を発行した取引から生じる一切の契約債務を含む。これらのいわゆる信用状は、預金または公的機関の副保証によりカバーされる。BNG銀行は、借主が債務不履行の場合に支払う必要がある原貸付元本額で偶発債務を計上している。

	2024年6月30日現在	2023年12月31日現在
偶発債務	491	478

取消可能信用供与契約

これは、取消可能な当座勘定信用供与契約に帰属する一切の契約債務を含む。

	2024年6月30日現在	2023年12月31日現在
取消可能信用供与契約	5,629	6,118

取消不能信用供与契約

これは、貸付金および前渡金を供与することになりうる一切の取消不能な契約債務を含む。以下の表で、これらの契約は、与信枠ならびに契約済み貸付金および前渡金の将来の実行に区分される。

	2024年6月30日現在	2023年12月31日現在
与信枠の未使用部分に関する基本契約	1,748	1,766
将来実行予定の契約済み貸付金および前渡金	1,779	2,194
合計	3,527	3,960

貸借対照表日以降の事象

貸借対照表日以降、中間報告書の数値または開示に調整が必要な報告すべき事象はない。

ハーグ、2024年9月6日

法定取締役会

Olivier Labe (臨時CEO兼CFO)
Cindy van Attevelde-Machielsen (CRO)

監督取締役会

Huub Arendse、会長
Femke de Vries、副会長
Karin Bergstein
Marja Elsinga
Marlies van Elst
Leonard Geluk
Constant Korthout

第 3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし